



ユーザマニュアル

勘定奉行クラウド版 処理手順

2025/07/10
株式会社 HAYAWAZA

1. 内容

1. 内容	1
2. 事業所データの作成	2
2.1. 消費税情報の確認	2
2.2. 消費税区分出力	6
2.3. マスタ出力	9
3. 事業所の作成	12
3.1. 事業所データの新規作成	12
3.2. 事業所データの設定	19
4. 取引先について	23
5. 書き出し	25
6. 仕訳データの取込	35
7. マスタデータの登録	40

2. 事業所データの作成

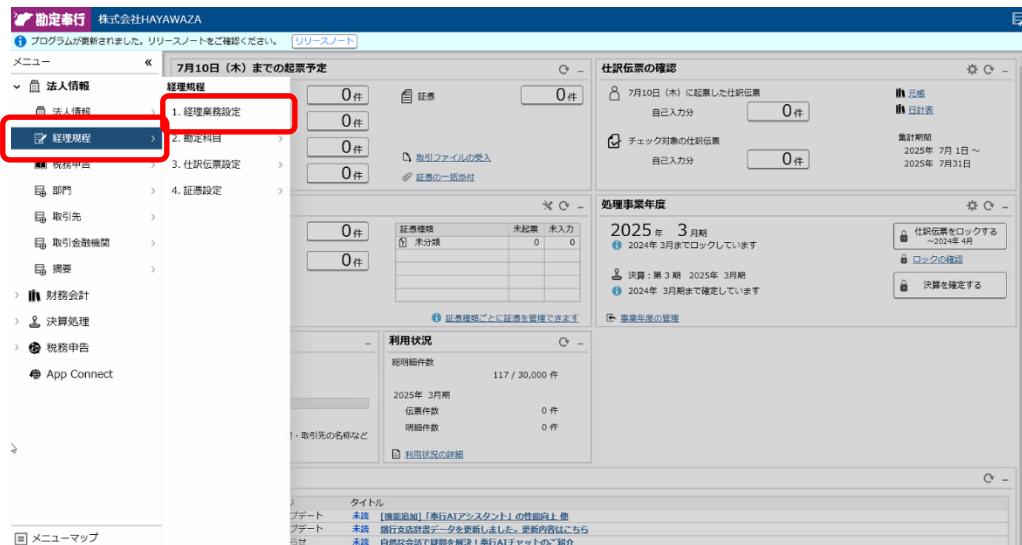
2.1.消費税情報の確認

HAYAWAZA で事業所データの作成を行う前に、勘定奉行クラウドで作成する事業所の消費税情報の確認と、勘定科目、補助科目、部門、取引先のマスタの出力を行います。

※勘定奉行クラウド版は弥生会計と違い自動連動は行いませんので、マスタ登録を行わないとパターン登録を行う事が出来ません。

勘定奉行クラウドで作成する事業所データを開きます。

消費税情報の確認は「経理規程」→「1. 経理業務設定」から確認出来ます。



「経理業務設定」の「基本」に経理方式が表示されるので確認します。



「経理業務設定」の「取引入力」に端数処理が表示されるので確認します。

経理業務設定

株式会社HAYAWAZA

基本
取引入力
伝票No.
決算処理

整理仕訳
管理方法
☒ 日常仕訳と区別しない
☐ 日常仕訳と区別する
登録時期 0 事業年度末

勘定科目
消費税の自動計算
☐ 計算しない
☐ 税抜金額から計算する
☒ 税込金額から計算する

端数処理
☐ 切り上げ
☐ 四捨五入
☒ 切り捨て

金額

ヘルプ(H) 登録(T) 閉じる(C)

次に消費税の計算方法は「税務申告」→「1. 税務申告設定」から確認出来ます。

助定奉行 株式会社HAYAWAZA

メニュー

- 法人情報
- 経理連携
- 税務申告**
- 取引先
- 取引金融機関
- 摘要
- 財務会計
- 決算処理
- 税務申告
- App Connect

7月10日(木)までの起票予定

- 1. 税務申告設定 0件
- 2. 消費税区分 0件
- 3. 消費税区分表示設定 0件

仕訳伝票の確認

7月10日(木)に起票した仕訳伝票
自己入力分 0件

チェック対象の仕訳伝票
自己入力分 0件

処理事業年度

2025年 3月期
2024年 3月期までロックしています
決算：第3期 2025年 3月期
2024年 3月期まで確定しています

仕訳伝票をロックする
→2024年4月
ロックの確認
決算を確定する

利用状況

総明細件数 117 / 30,000件

2025年 3月期
伝票件数 0件
明細件数 0件

利用状況の詳細

タイトル
未読 経理連携「取引AIアシスタント」の仕訳伝票と書
未読 銀行支払伝票データを更新しました。更新内容はこちら
未読 自然な会話で疑問を解決！取引AIアシスタントのご紹介

税務申告設定

株式会社HAYAWAZA

基本
消費税

申告書情報

申告回数 0 年 1回 (確定申告 1回)

☐ 課税期間の特例を適用する 0 年 4回 (確定申告 4回)

計算方法

- ☒ 原則課税
- ☐ 簡易課税
- ☐ 免税

☒ 適格請求書発行事業者の登録

登録日 2023年10月 1日

登録前 0 課税事業者

売上税額

- ☒ 割戻し計算
- ☐ 積上げ計算

仕入税額

- ☒ 割戻し計算
- ☐ 積上げ計算

控除方法

ヘルプ(H) 登録(T) 閉じる(C)

HAYAWAZA で設定する消費税情報は、

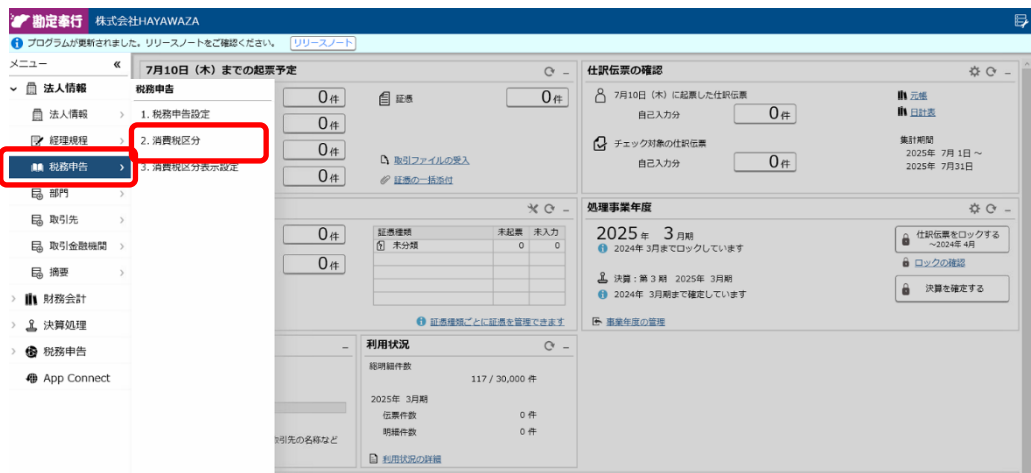
- 「計算方式」 : 免税、原則課税、簡易課税
- 「経理方式」 : 税抜、税込
- 「税端数処理」 : 切り捨て、四捨五入、切り上げ
- 「簡易課税事業区分」: 卸売業、小売業、製造業、その他、サービス業、不動産業

以上から該当するものを選択します。

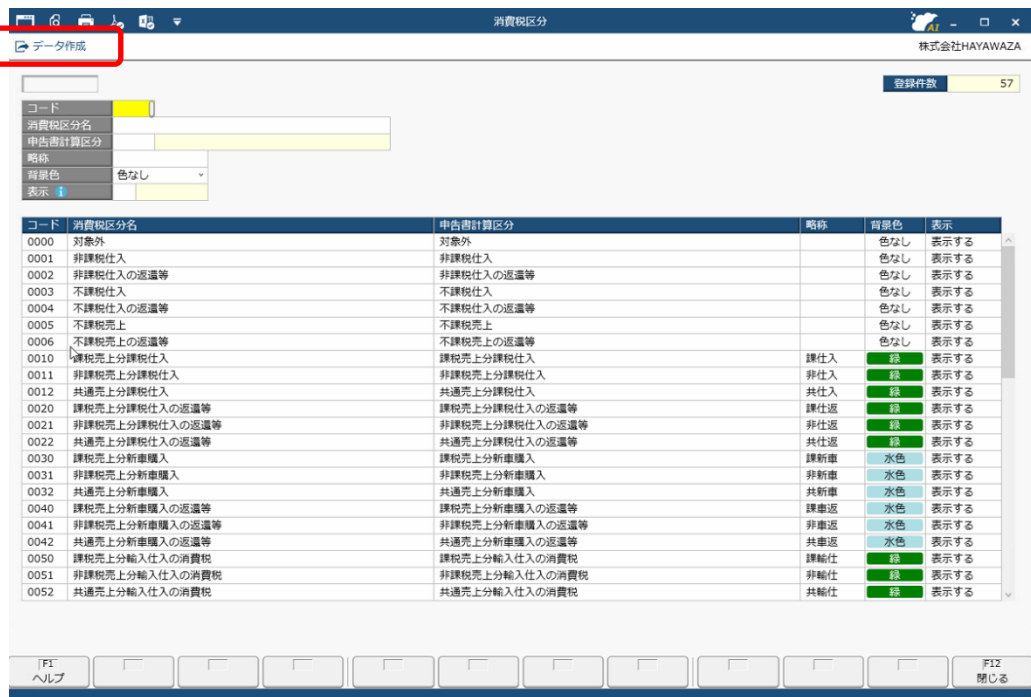
消費税情報の確認が出来たら「消費税区分」、「勘定科目」、「補助科目」、「部門」、「取引先」のマスタの出力を行います。

2.2.消費税区分出力

消費税区分の出力は「税務申告」→「2. 消費税区分」から行います。



「消費税区分」の画面上部にある「データ作成」をクリックします。



データ作成の設定画面が表示されるので、条件を指定していきます。

- 基本設定

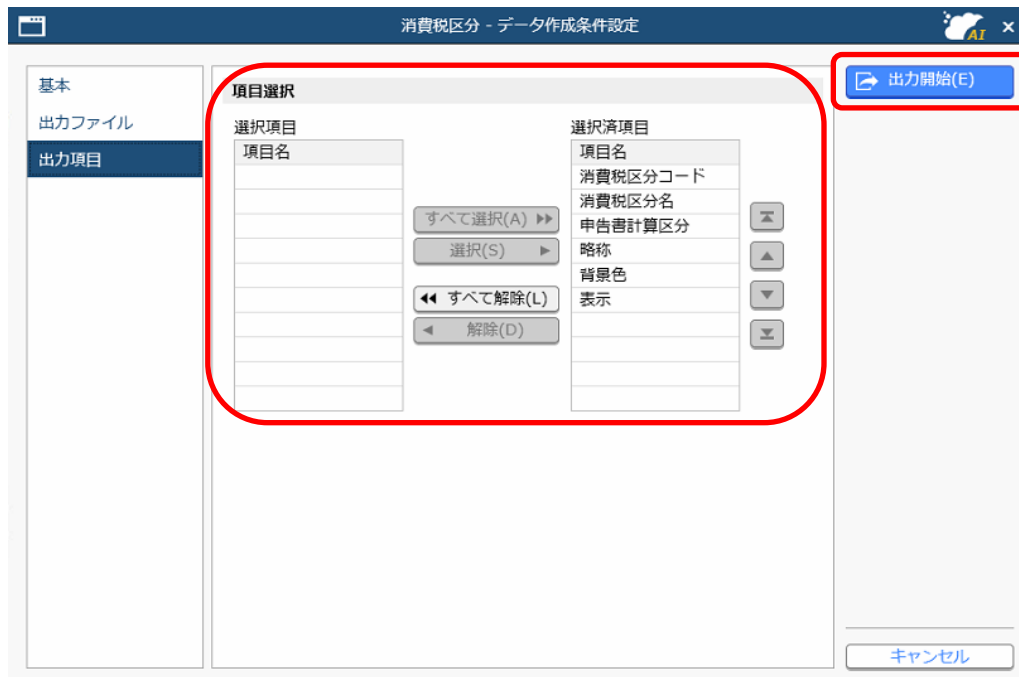
税区分指定を「最初～最後」にしておきます。

- 出力ファイル設定

ファイル種類：テキスト形式のファイル、作成形式：カンマ区切りを選択しておき、出力先を指定します。

- 出力項目

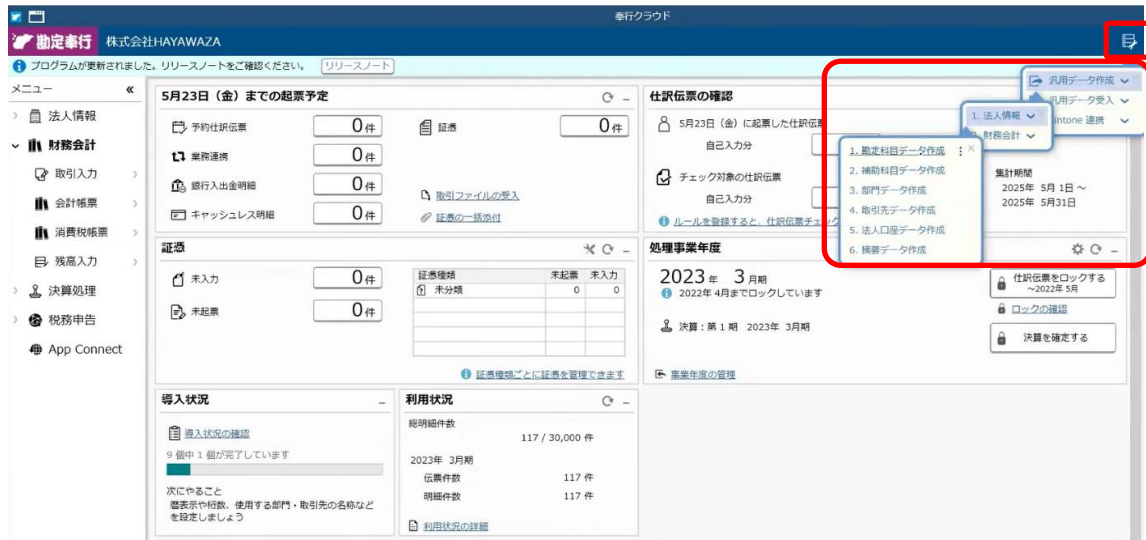
「すべて選択」をクリックし、「選択済項目」にすべて移動させます。



条件の設定が出来たら「出力開始」をクリックすると消費税区分が出力されます。

2.3. マスタ出力

勘定科目、補助科目、部門、取引先のマスタの出力は画面上部のアイコンをクリックし、「汎用データ作成」より行います。



※今回は勘定科目の出力で説明します。補助科目、部門、取引先の出力は必要に応じて行ってください。

「汎用データ作成」→「1. 法人情報」より「1. 勘定科目データ作成」を選択します。
出力条件設定画面が表示されるので、条件を設定します。



・基本設定

勘定科目指定は「最初～最後」にしておきます。



- 出力ファイル設定

ファイル種類：「テキスト形式」、作成形式：「カンマ区切」を選択しておき、出力先を指定します。



- 出力項目選択

「すべて選択」をクリックし、「選択済項目」にすべて移動させます。



すべての設定が出来たら「出力開始」をクリックするとマスタデータが出力されます。

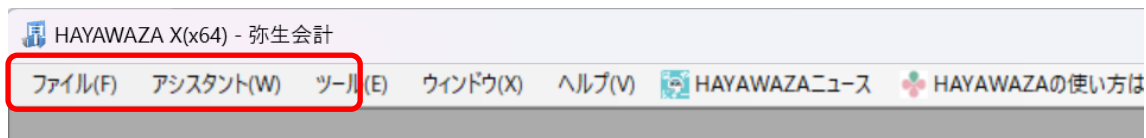
同様に補助科目マスタ、部門マスタ、取引先マスタを出力します。

以上で勘定奉行クラウドでの準備は終了です。HAYAWAZA で事業所の作成を行います。

3. 事業所の作成

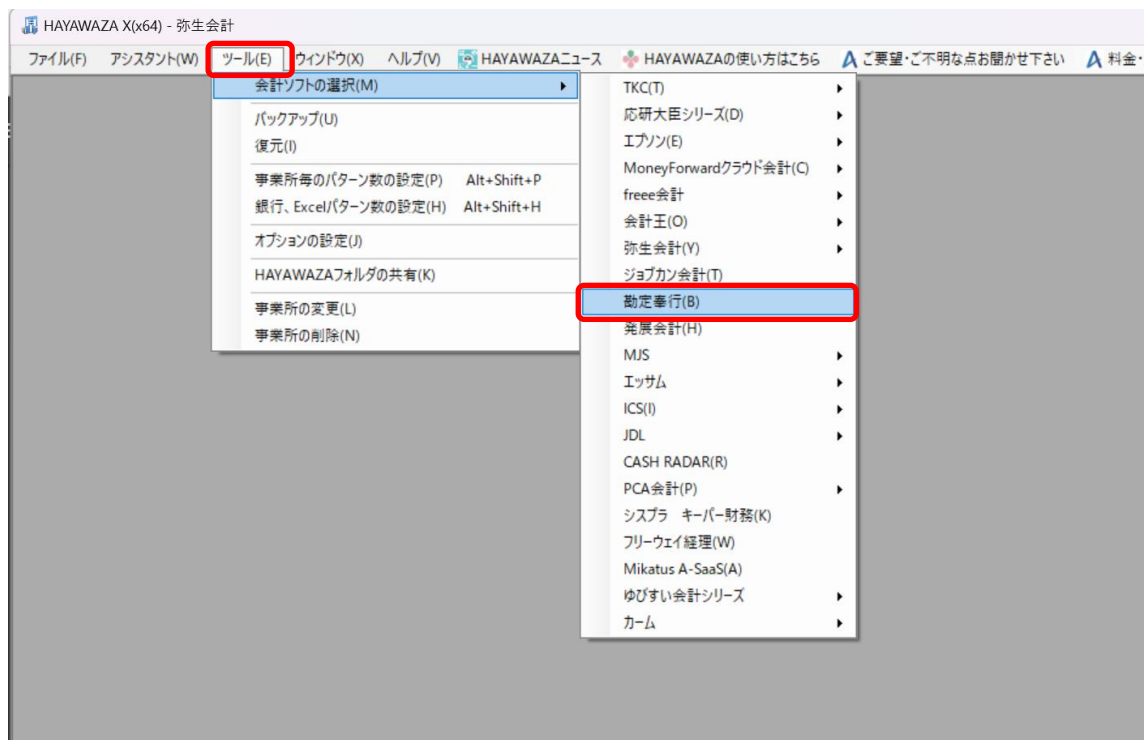
3.1. 事業所データの新規作成

HAYAWAZA を起動し、左上のタイトルバーが「勘定奉行」以外の場合、会計ソフトの変更をします。

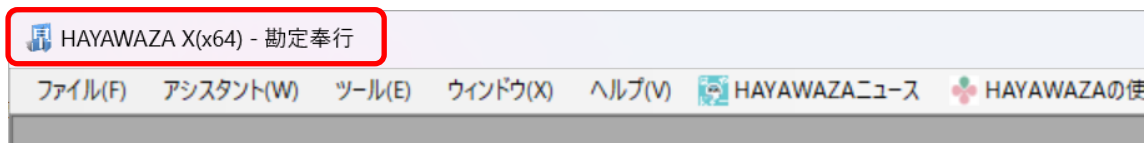


勘定奉行クラウド版に変更するには、「ツール」の「会計ソフトの選択」で「勘定奉行」を選択します。

※勘定奉行版、勘定奉行クラウド版共に「勘定奉行」を選択します。



会計ソフトの変更を行うと、左上のタイトルバーの表示が「勘定奉行」となります。



メニューの「ファイル」→「事業所の新規作成」から事業所の設定を行います。

「事業所の新規作成」を選択すると、以下の画面が表示されます。

勘定奉行設定ウィザード - 事業所詳細の設定(1/3)

会社名 	
決算期 第 1 期	会計期間 2023年 4月 1日 ~ 2024年03月31日
計算方式 ☒ 原則課税 ☐ 簡易課税 ☐ 免税	経理方式 ☒ 税抜 ☐ 税込
税端数処理 ☒ 切り捨て ☐ 四捨五入 ☐ 切り上げ	
主たる業種 ☒ 第1種(卸売業) ☐ 第2種(小売業) ☐ 第3種(製造業) ☐ 第4種(その他) ☐ 第5種(サービス業) ☐ 第6種(不動産業)	

 次へ(K) >  キャンセル(C)

登録する会社名、決算期、会計期間、消費税情報を設定します。

勘定奉行設定ウィザード - 事業所詳細の設定(1/3)

会社名

株式会社HAYAWAZA

決算期

第 3 期

会計期間

2024年 4月 1日 ~ 2025年03月31日

計算方式

☒ 原則課税 ☐ 簡易課税 ☐ 免税

経理方式

☒ 税抜 ☐ 税込

税端数処理

☒ 切り捨て ☐ 四捨五入 ☐ 切り上げ

主たる業種

☒ 第1種(卸売業) ☐ 第2種(小売業) ☐ 第3種(製造業)
☐ 第4種(その他) ☐ 第5種(サービス業) ☐ 第6種(不動産業)

次へ(K) >

キャンセル(C)

会社情報の設定が出来たら「次へ」を選択します。

下記の画面では、HAYAWAZA で作成した事業所にパスワードを設定したい場合に設定を行います。「管理者のパスワードを設定する」チェックボックスをチェックしてパスワードを入力して下さい（不要の場合は、この画面で管理者パスワードを省略して下さい）。

勘定奉行設定ウィザード - 管理者パスワードの設定画面(2/3)

HAYAWAZA Xでは、事業所のデータのアクセスパスワードを設定することが可能です。
事業所のアクセスする「管理者」にパスワードを設定しますか？

☐ 管理者のパスワードを設定する

パスワードの設定

入力:

再入力:

< 戻る(J) **次へ(K) >** X キャンセル(C)

注意：

このパスワードの設定は、事業所を作成した後でも設定することは可能です。
詳しくは、「ユーザ管理」をご確認下さい。

管理者パスワード設定画面で「次へ」を選択すると以下の画面が表示されます。

以下の画面は、設定の確認画面です。設定内容が正しければ「登録する」を選択して下さい。修正する場合は、「戻る」を選択して修正して下さい。

勘定奉行設定ウィザード - 確認画面(3/3)

事業所情報	会社名: 株式会社HAYAWAZA 会計期間: 第3期(2024年04月01日 ~ 2025年03月31日)
消費税情報	計算方式: 原則課税 経理方式: 税抜 税端数処理: 切り捨て 主たる業種: 未設定
早業管理者パスワード	未設定

 < 戻る(J)

 登録する(Y)

 キャンセル(C)

正しく登録されると完了画面が表示されます。

勘定奉行設定ウィザード - 確認画面(3/3)

事業所情報

会社名: 株式会社HAYAWAZA

会計期間: 第3期(2024年04月01日 ~ 2025年03月31日)

消費税情報

計算方式: 原則課税

経理方式: 税抜

早業管

勘定奉行設定ウィザード

登録が完了しました。

OK

◀ 戻る(J)

▶ 登録する(Y)

✕ キャンセル(C)

事業所の登録が完了したら、事業所で使用する銀行もしくは、Excel のパターン数を設定します。

「登録可能パターン数の設定」画面では、「銀行パターン数の設定」と「Excel パターン数の設定」の2つの値を設定して下さい。

登録可能パターン数の設定

検索

表示オプション
☐ 繰越済の事業所も表示する

事業所名	決算期	会計期間	銀行パターン(登録/設定)	Excelパターン(登録/設定)
株式会社HAYAWAZA	3	R.06/04/01-R.07/03/31	(---/0)	(---/1)

データベース名: 株式会社HAYAWAZA(3期).mdb

登録日時: 2025年07月14日 11時43分46秒

更新日時: 2025年07月14日 11時43分47秒

銀行パターン数の設定
0 0から16の値が設定可能(現在の設定パターン数: 0)

Excelパターン数の設定
1 0から52の値が設定可能(現在の設定パターン数: 0)

全事業所のパターン数をリセット(J)

全事業所の登録パターン数を更新する(K)

エクスポート(J) ファイルを選択して開く(K) 設定する(Y) キャンセル(N)

注意：

登録可能なパターン数は、「ヘルプ」⇒「ライセンス情報」で確認して下さい。体験版ライセンスには、銀行パターン、Excelパターンとも「10」となっております。

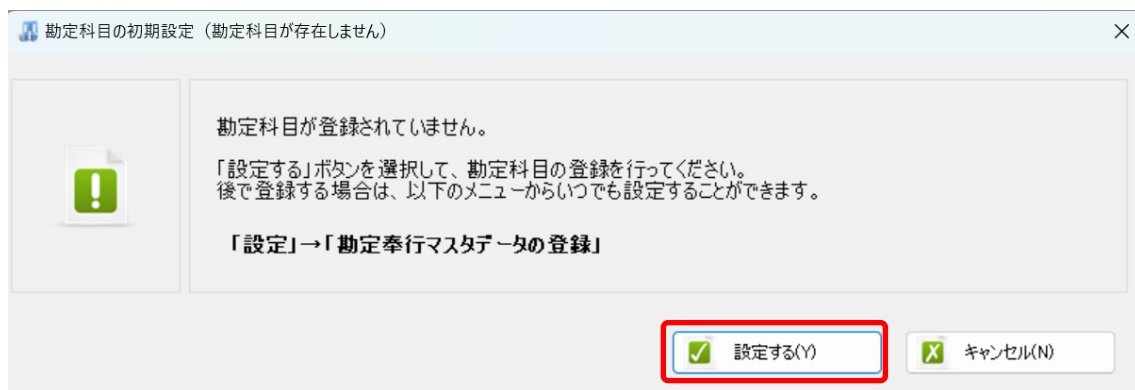
上記の画面で設定したパターン数は、後で変更することが可能です。詳しくは、「登録パターン数の設定」をご確認下さい。

パターン数を正しく入力し「設定する」ボタンを選択すると、マスタファイルの登録画面になります。

3.2.事業所データの設定

事業所の作成およびパターン数の設定が完了すると、以下の「勘定科目の初期設定」画面が表示されます。

(マスタ登録後は表示されなくなります)



「設定する」を選択するとマスタデータの登録画面が表示されます。

勘定奉行クラウドで出力した税区分、勘定科目、補助科目、部門、取引先のマスタファイルを画面上にドロップします。

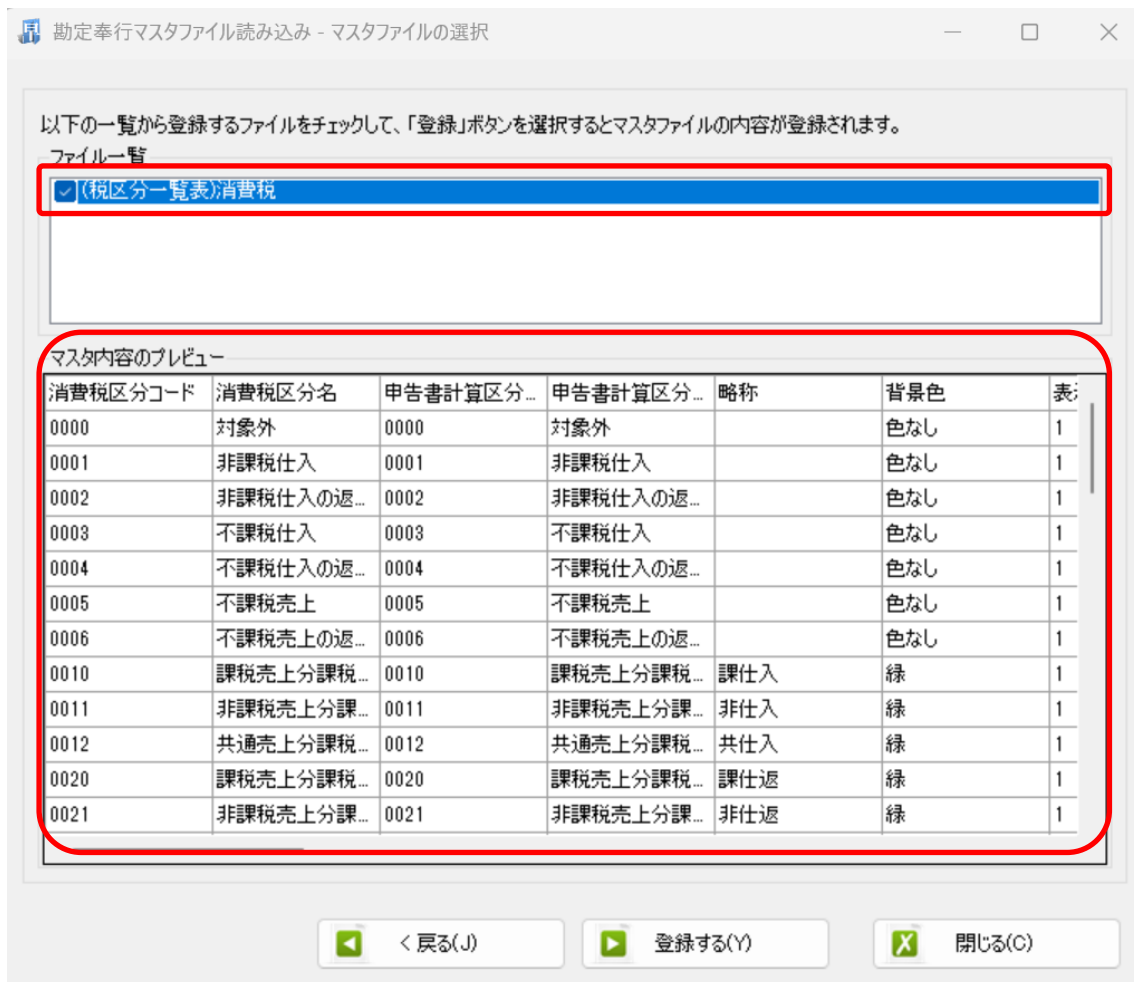


データをドロップするとデータのファイル選択画面が表示されます。

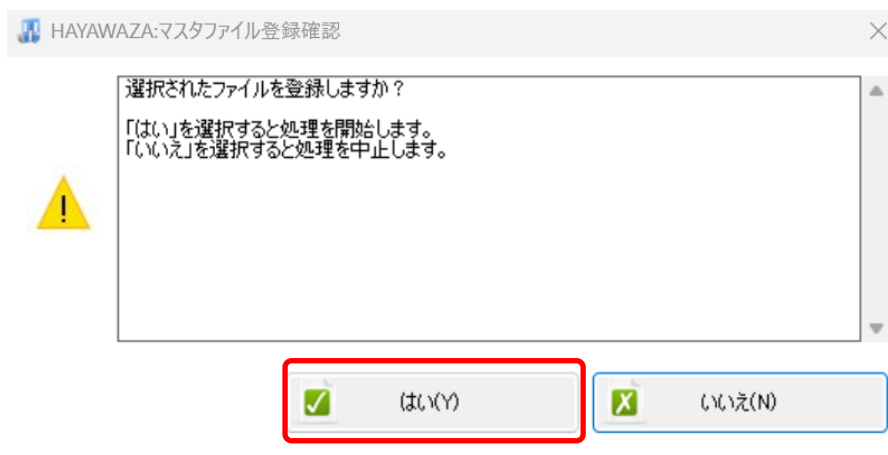
画面上部にはドロップしたデータファイルが一覧で表示され、画面下部にマスタデータのプレビューが表示されます。複数のデータをドロップした場合は選択したマスタファイルの内容がプレビュー画面に表示されます。

※マスタは「税区分」→「勘定科目」→「補助科目、部門、取引先等」の順に登録してください。

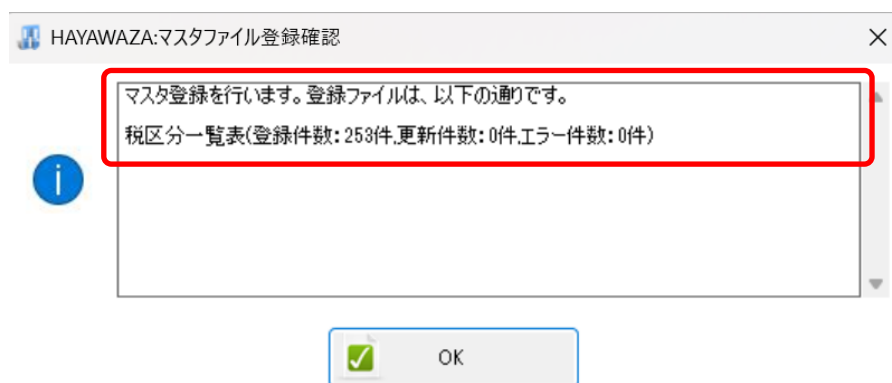
ファイル一覧でチェックをつけたデータが登録の対象となるので、必要なデータにチェックをつけます。



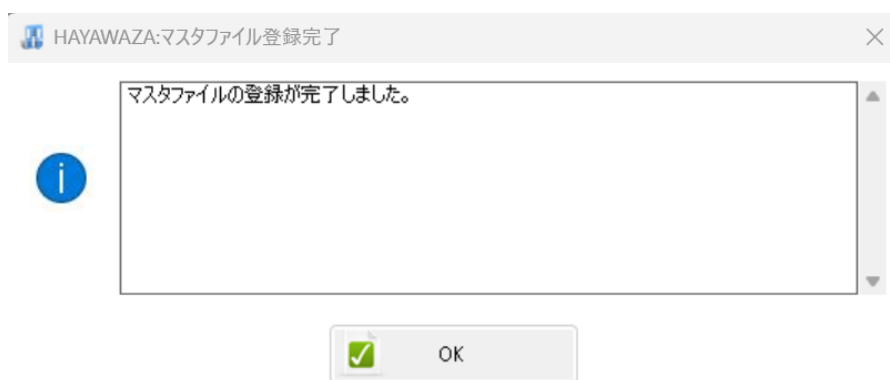
データファイルのチェックをつけ、「登録する」を選択すると確認画面が表示されるので、「はい」を選択します。



上記の画面で「はい」を選択すると、マスタファイルの登録が開始され、終了時に登録結果が表示されます。



上記の画面で「OK」をクリックするとマスタ登録が完了し、以下の画面が表示されます



勘定科目、補助科目、部門、取引先のマスタデータも同様に登録を行ってください。

すべてのマスタの登録が完了したらパターンの登録、設定を行います。

※詳しくはマニュアルを参照ください。

4. 取引先について

取引先マスタを登録すると、HAYAWAZA で取引先を出力することができます。

※HAYAWAZA 上では、取引先の項目（列）がないため、代わりに摘要欄を取引先として扱います。

（１）パターン設定の際に借方摘要 1～3、貸方摘要 1～3のうち、取引先として扱う項目を決めていただき、元データの取引先の列（またはセル）を指定してください。

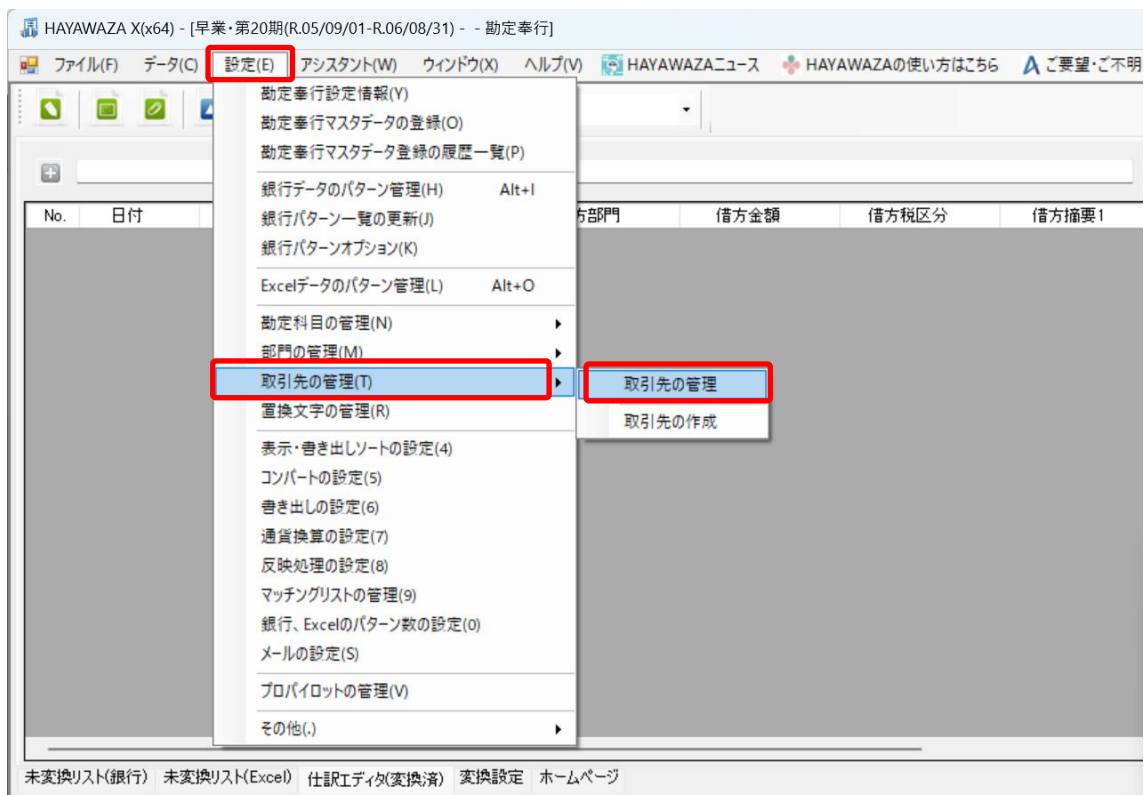
仕訳No. 日付 金額 消費税額 借方科目 借方部門 借方税区分 借方税率 借方摘要 貸方科目 貸方部門 貸方税区分 貸方税率 貸方摘要

「借方摘要 1」列指定: 現在の選択を「借方摘要 1(借方)」に設定
「借方摘要 1」を入力:
☐ 半角変換 ☐ 全角変換 未設定
☐ 空欄の摘要は、直前を使用
☐ Excelシート名を「借方摘要 1」に指定
☐ 「借方摘要 1」を指定しない

「借方摘要 2」列指定: 現在の選択を「借方摘要 2(借方)」に設定
「借方摘要 2」を入力:
☐ 半角変換 ☐ 全角変換 未設定
☐ 空欄の摘要は、直前を使用
☐ Excelシート名を「借方摘要 2」に指定
☒ 「借方摘要 2」を指定しない

「借方摘要 3」列指定: 現在の選択を「借方摘要 3(借方)」に設定
「借方摘要 3」を入力:
☐ 半角変換 ☐ 全角変換 未設定
☐ 空欄の摘要は、直前を使用
☐ Excelシート名を「借方摘要 3」に指定
☒ 「借方摘要 3」を指定しない

（２）「設定」→「取引先の管理」より、取引先として出力する摘要を設定します。



取引先の管理

取引先オプション

取引先オプション

☒ 「借方摘要1」を「取引先」として書き出しする

☐ 「貸方摘要1」を「取引先」として書き出しする

☐ 「借方摘要2」を「取引先」として書き出しする

☐ 「貸方摘要2」を「取引先」として書き出しする

☐ 「借方摘要3」を「取引先」として書き出しする

☐ 「貸方摘要3」を「取引先」として書き出しする

比較オプション

☒ 部分一致で取引先を検索する

☐ 空欄で区切った文字で取引先を検索しない

検索

取引先コード	取引先名(略称等)	名称等	適格請求書発行事業者番号

開じる

上記設定を行うと、指定した摘要を取引先として扱い、取引先マスタとのマッチングが可能となります。

取引先は基本的に自動でマッチングされます。

マッチングされない取引先に関しましては、手動での登録が必要となります。

取引先マッチングについては、別紙「[取引先のマッチングについて](#)」を参照してください。

5. 書き出し

勘定奉行クラウド版では自動連動は行われないので、HAYAWAZA でファイルを出力し、勘定奉行クラウドで取り込み処理を行う必要があります。

仕訳エディタに全ての仕訳を反映させ、書き出しを選択すると、以下の画面が表示されます。

この画面で書き出しオプションを設定することが出来ます。

R.06/04/01～R.07/03/31

書き出し件数 44 件

書き出しデータオプション

- ☐ 仕訳エディタ検索結果を出力(未書き出し分)
- ☐ すでに書き出された仕訳データを対象

書き出し税区分コード・税率オプション 出力後オプション

- ☐ 課税仕訳の税区分コード(CSJS203)を空欄で出力する
- ☐ 課税仕訳の税率(CSJS220)を空欄で出力する

伝票No出力オプション

- ☐ 摘要を伝票Noとして書き出す 借方摘要1

書き出しの対象期間

- ☒ 現在の会計期間すべて選択 ☐ 会計期間外も対象とする
- ☐ 対象期間を指定する 2024年 4月 1日 ~ 2025年 3月31日

摘要オプション 付箋文字オプション 付箋オプション bixidオプション

摘要への書き出しオプション

- ☒ 借方摘要1 ☒ 貸方摘要1
- ☒ 借方摘要2 ☒ 貸方摘要2
- ☒ 借方摘要3 ☒ 貸方摘要3

連結文字: 半角スペース

- ☒ 前後の空白を削除 ☐ 連続する空白を空白に置換
- ☐ 重複する摘要は出力しない
- ☐ 連結文字の前後に摘要がない時、連結文字を使用しない

- ☐ パターン毎の書き出しを優先する

書き出す(Y) キャンセル(N)

※画面左上の書き出し件数には現在書き出し可能な仕訳件数が表示されています。

・書き出しデータオプション

「仕訳エディタ検索結果を出力(未書き出し分)」

書き出し可能な仕訳の内、現在仕訳エディタに表示されている仕訳のみを書き出す場合にチェックを入れます。

「すでに書き出された仕訳データを対象」

一度書き出し済みの仕訳データを再度書き出す場合にチェックをつけます。

一度書きだした仕訳を再度書き出す事も可能です。仕訳エディタに書き出したい仕訳を表示させ、書き出しデータオプションのチェックを両方つけることにより再度書き出しを行うことができます。

・書き出し税区分コード・税率オプション

「税区分」や「税率」を空欄で出力する場合にチェックを入れます。

「税区分」や「税率」が空欄の場合は、仕訳データを取り込む時に勘定奉行クラウドの設定に従って自動判定されます。

R.06/04/01～R.07/03/31

書き出し件数 **44 件**

書き出しデータオプション

- ☐ 仕訳エディタ検索結果を出力(未書き出し分)
- ☐ すでに書き出された仕訳データを対象

書き出し税区分コード・税率オプション 出力後オプション

- ☐ 課税仕訳の税区分コード(OSJS203)を空欄で出力する
- ☐ 課税仕訳の税率(OSJS220)を空欄で出力する

伝票No出力オプション

- ☐ 摘要を伝票Noとして書き出す 借方摘要1

書き出しの対象期間

- ☒ 現在の会計期間すべて選択 ☐ 会計期間外も対象とする
- ☐ 対象期間を指定する 2024年 4月 1日 ~ 2025年 3月31日

摘要オプション 付箋文字オプション 付箋オプション bixidオプション

摘要への書き出しオプション

- ☒ 借方摘要1 ☒ 貸方摘要1
- ☒ 借方摘要2 ☒ 貸方摘要2
- ☒ 借方摘要3 ☒ 貸方摘要3

連結文字: 半角スペース

- ☒ 前後の空白を削除 ☐ 連続する空白を空白に置換
- ☐ 重複する摘要は出力しない
- ☐ 連結文字の前後に摘要がない時、連結文字を使用しない

- ☐ パターン毎の書き出しを優先する

書き出す(Y) キャンセル(N)

・伝票 No 出力オプション

伝票 No を書き出す場合にチェックを入れ、伝票 No として書き出す摘要をプルダウンで選択します。

R.06/04/01～R.07/03/31

書き出し件数 0 件

書き出しデータオプション

☐ 仕訳エディタ検索結果を出力(未書き出し分)

☐ すでに書き出された仕訳データを対象

書き出し税区分コード・税率オプション 出力後オプション

☐ 課税仕訳の税区分コード(CSJS203)を空欄で出力する

☐ 課税仕訳の税率(CSJS220)を空欄で出力する

伝票No出力オプション

☒ 摘要を伝票Noとして書き出す 貸方摘要1

書き出しの対象期間

☒ 現在の会計期間すべて選択 ☐ 会計期間外も対象とする

☐ 対象期間を指定する 2024年 4月 1日 ~ 2025年 3月31日

摘要オプション 付箋文字オプション 付箋オプション bixidオプション

摘要への書き出しオプション

☒ 借方摘要1 ☐ 貸方摘要1

☒ 借方摘要2 ☒ 貸方摘要2

☒ 借方摘要3 ☒ 貸方摘要3

連結文字: 半角スペース

☒ 前後の空白を削除 ☐ 連続する空白を空白に置換

☐ 重複する摘要は出力しない

☐ 連結文字の前後に摘要がない時、連結文字を使用しない

☐ パターン毎の書き出しを優先する

書き出す(Y) キャンセル(N)

・摘要への書き出しオプション

HAYAWAZA では摘要を借方・貸方でそれぞれ 3 つまで設定できますが勘定奉行クラウドの摘要は 1 つとなります。よって、HAYAWAZA から出力する際は、6 つの摘要を連結して出力します。

HAYAWAZA に入力されている摘要のうち、書き出す摘要を指定できます。HAYAWAZA で入力されていてもこのチェックが外れている場合は出力されません。摘要は「借方摘要 1～3」、「貸方摘要 1～3」の順に連結されます。

書き出したい摘要にチェックをつけます。

R.06/04/01～R.07/03/31

書き出し件数 **44 件**

書き出しデータオプション

- ☐ 仕訳エディタ検索結果を出力(未書き出し分)
- ☐ すでに書き出された仕訳データを対象

書き出し税区分コード・税率オプション 出力後オプション

- ☐ 課税仕訳の税区分コード(CSJS203)を空欄で出力する
- ☐ 課税仕訳の税率(CSJS220)を空欄で出力する

伝票No出力オプション

- ☐ 摘要を伝票Noとして書き出す 借方摘要1

書き出しの対象期間

- ☒ 現在の会計期間すべて選択 ☐ 会計期間外も対象とする
- ☐ 対象期間を指定する 2024年 4月 1日 ~ 2025年 3月31日

摘要オプション 付箋文字オプション 付箋オプション bixidオプション

摘要への書き出しオプション

- ☒ 借方摘要1 ☒ 貸方摘要1
- ☒ 借方摘要2 ☒ 貸方摘要2
- ☐ 借方摘要3 ☐ 貸方摘要3
- 連結文字: 半角スペース
- ☒ 前後の空白を削除 ☐ 連続する空白を空白に置換
- ☐ 重複する摘要は出力しない
- ☐ 連結文字の前後に摘要がない時、連結文字を使用しない
- ☐ パターン毎の書き出しを優先する

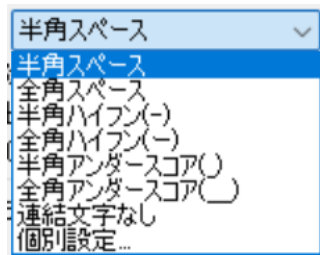
書き出す(Y) キャンセル(N)

※勘定奉行クラウド版の摘要は全角 40 文字までとなります。書き出せる摘要は全角 40 文字までとなりますのでご注意ください。

「連結文字」

摘要と摘要を連結する文字を指定する事が出来ます。

「連結文字」を選択し、以下のリストから指定します。



「前後の空白を削除」

摘要の空白を削除して書き出しを行います。

R.06/04/01～R.07/03/31

書き出し件数 **44 件**

書き出しデータオプション

- ☐ 仕訳エディタ検索結果を出力(未書き出し分)
- ☐ すでに書き出された仕訳データを対象

書き出し税区分コード・税率オプション 出力後オプション

- ☐ 課税仕訳の税区分コード(CSJS203)を空欄で出力する
- ☐ 課税仕訳の税率(CSJS220)を空欄で出力する

伝票No出力オプション

- ☐ 摘要を伝票Noとして書き出す 借方摘要1

書き出しの対象期間

☒ 現在の会計期間すべて選択 ☐ 会計期間外も対象とする

☐ 対象期間を指定する 2024年 4月 1日 ~ 2025年 3月 31日

摘要オプション 付箋文字オプション 付箋オプション bixidオプション

摘要への書き出しオプション

- ☒ 借方摘要1 ☒ 貸方摘要1
- ☒ 借方摘要2 ☒ 貸方摘要2
- ☐ 借方摘要3 ☐ 貸方摘要3

連結文字: 半角スペース

- ☒ 前後の空白を削除 ☐ 連続する空白を空白に置換
- ☐ 重複する摘要は出力しない
- ☐ 連結文字の前後に摘要がない時、連結文字を使用しない

☐ パターン毎の書き出しを優先する

書き出す(Y) キャンセル(N)

・「付箋オプション」、「付箋文字への書き出しオプション」

書き出した仕訳に付箋及び付箋文字を出力できます。

※付箋に出力できるのは、「摘要1～3」か、出力日時のみです。

付箋を「なし」に設定していると付箋文字を指定しても出力されません。

R.06/04/01~R.07/03/31

書き出し件数 44 件

書き出しの対象期間

☒ 現在の会計期間すべて選択 ☐ 会計期間外も対象とする

☐ 対象期間を指定する 2024年 4月 1日 ~ 2025年 3月31日

書き出しデータオプション

☐ 仕訳エディタ検索結果を出力(未書き出し分)

☐ すでに書き出された仕訳データを対象

書き出し税区分コード・税率オプション 出力後オプション

☐ 課税仕訳の税区分コード(CS.JS203)を空欄で出力する

☐ 課税仕訳の税率(CS.JS220)を空欄で出力する

伝票No出力オプション

☐ 摘要を伝票Noとして書き出す 借方摘要1

摘要オプション 付箋文字オプション **付箋オプション** 日付オプション

付箋1

☒ なし ☐ 赤 ☐ 青 ☐ 黄 ☐ 緑 ☐ 紫

書き出す(Y) キャンセル(N)

R.06/04/01～R.07/03/31

書き出し件数 **44 件**

書き出しデータオプション

☐ 仕訳エディタ検索結果を出力(未書き出し分)

☐ すでに書き出された仕訳データを対象

書き出し税区分コード・税率オプション 出力後オプション

☐ 課税仕訳の税区分コード(CSJS203)を空欄で出力する

☐ 課税仕訳の税率(CSJS220)を空欄で出力する

伝票No出力オプション

☐ 摘要を伝票Noとして書き出す 借方摘要1

書き出しの対象期間

☒ 現在の会計期間すべて選択 ☐ 会計期間外も対象とする

☐ 対象期間を指定する 2024年 4月 1日 ~ 2025年 3月31日

摘要オプション 付箋文字オプション 付箋オプション bixidオプション

付箋文字への書き出しオプション

☐ 借方摘要1 ☐ 貸方摘要1

☐ 借方摘要2 ☐ 貸方摘要2

☐ 借方摘要3 ☐ 貸方摘要3

連結文字: 半角スペース

☒ 前後の空白を削除 ☐ 連続する空白を空白に置換

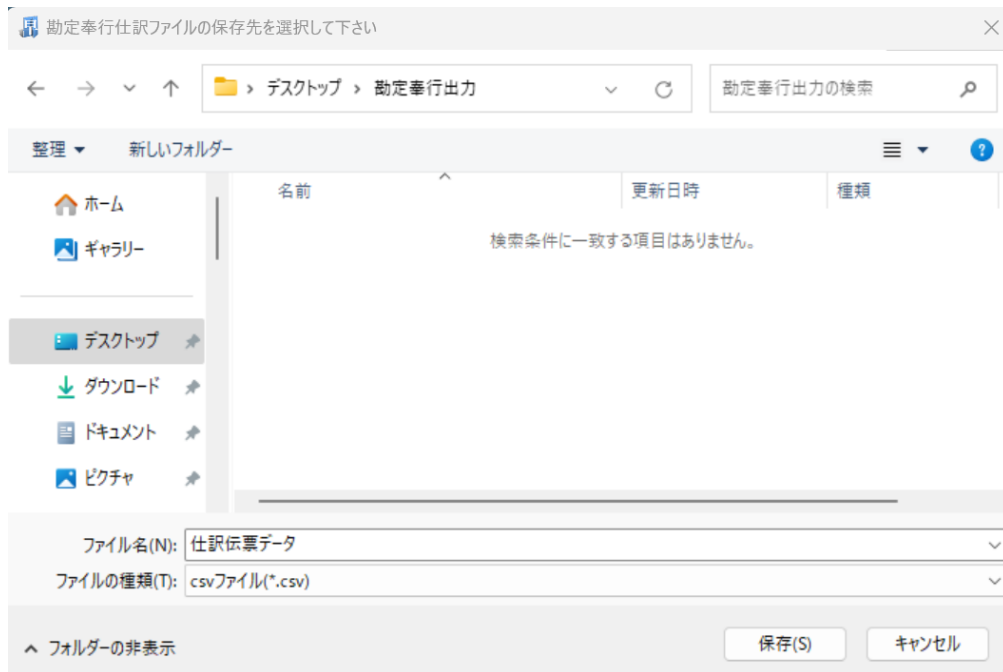
☒ 出力日時を追記

☐ 連結文字の前後に摘要がない時、連結文字を使用しない

書き出す(Y) キャンセル(N)

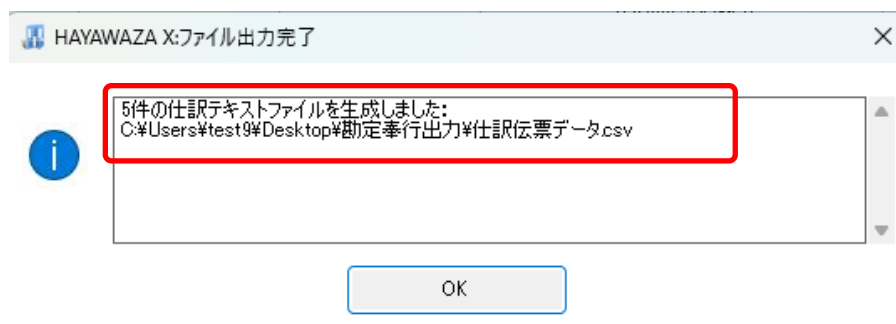
詳しくはマニュアルの「書き出しの初期設定」をご確認ください。

書き出し画面で全ての設定を確認し、「書き出す」を選択すると以下のファイルの出力先を選択する画面が表示されます。

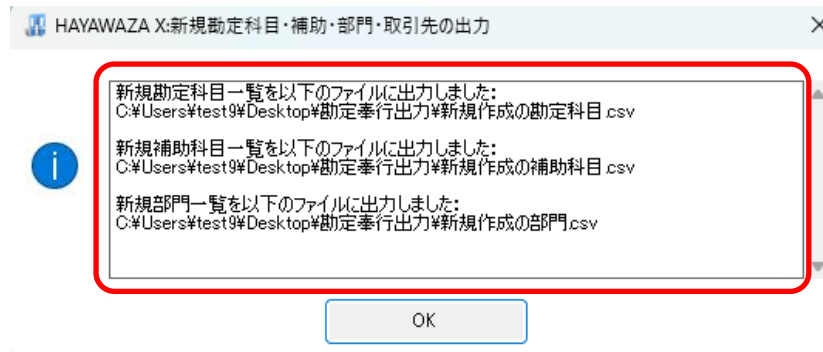


保存先を選択し、「保存」を選択するとファイルの出力が行われます。
このときに出力ファイル名を変更することは可能です。

ファイルの書き出しが完了すると、以下の画面が表示されます。



HAYAWAZA で作成した勘定科目、補助科目、部門がある場合は以下の画面が表示されます。

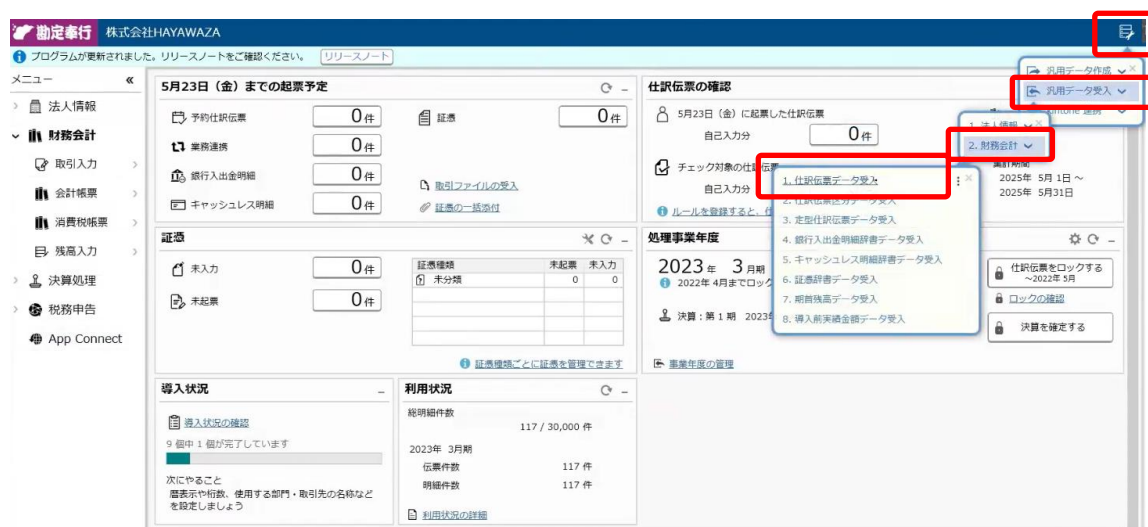


マスタの書き出しは一度事業所データを閉じて開き直さない限り毎回出力されます。

6. 仕訳データの取込

勘定奉行クラウドの画面上部のアイコンをクリックし、「汎用データ受入」→「2. 財務会計」→「1. 仕訳伝票データ受入」→「1. 仕訳伝票データ受入」から取り込みを行います。

マスタデータの書き出しが行われた場合は仕訳データを取り込む前にマスタデータを登録する必要があります。詳しくはマスタデータの登録を参照してください。



「仕訳伝票データ受入」画面が表示されます。

ファイル内の伝票 No.でデータを受け入れる場合は、「基本」の設定で「データ上の No.を使用する」を選択します。

「受入ファイル」の設定で、受入ファイル形式：OBC受入形式を選択します。
受入元ファイルを指定し、「受入開始」をクリックすると仕訳の受入処理が行われます。

仕訳伝票データ受入 - データ受入条件設定

基本

受入ファイル

完了通知

受入ファイル形式

OBC受入形式

形式編集(S)...

区切文字 自動判定

受入開始行 自動判定

☒ データ受入の流れを確認する

受入元ファイル

C:\Users\bugyo11\Dropbox\早業サポート チーム フ

参照(B)...

文字コード 日本語 (シフト JIS)

OBCD001,CSJS005,CSJS007,CSJS205,CSJS206,CSJS200,CSJS208,CSJS201,CSJS
*,2023/10/1,10,,2,0,,604,0,10,,10,100000,,2,0,,100,0,0,,10,100000,,A社,,,20

受入開始(I)

パターン作成(C)

キャンセル

ヘルプ(H)

仕訳のデータ受入処理が完了すると、受入結果が表示されます。

仕訳伝票データ受入 - 受入結果

処理日時

2025/07/17 11:53

処理件数

☒ 受入済データ

43 件

ファイルの行数

43 行

☐ 未受入データ

1 件

ファイルの行数

1 行

画面(V)

印刷(P)...

PDF(F)...

データ作成(E)...

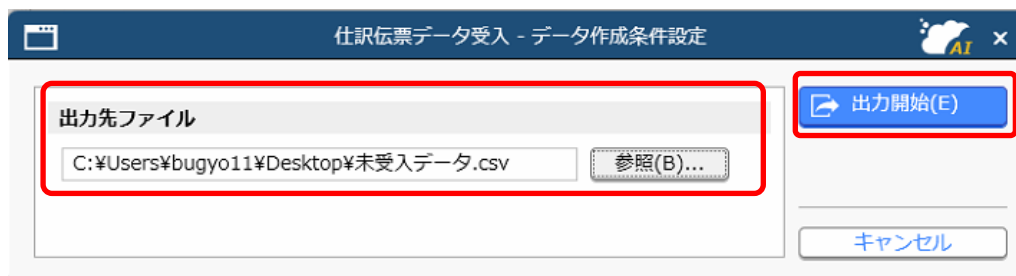
データ受入(I)

閉じる

未受入の仕訳については「未受入データ」を選択し、「データ作成」ボタンをクリックします。



出力先ファイルを設定して、「出力開始」ボタンをクリックすると、未受入データが出力されます。



未受入データの対処方法について詳しくは、勘定奉行クラウドのマニュアルを参照してください。

7. マスタデータの登録

マスタデータの書き出しが行われた場合は仕訳データを取り込む前にマスタデータを登録する必要があります。

※マスタデータの受入を行わずに仕訳データの受入を行うとエラーとなりますのでご注意ください。

勘定科目の登録は「汎用データ受入」→「1. 法人情報」→「1. 勘定科目データ受入」より行います。



※今回は勘定科目の受入で説明します。補助科目、部門の受入は必要に応じて行ってください。

「勘定科目データ受入」を選択すると受入条件設定画面が表示されるので、受入元ファイル名に出力されたマスタデータ「新規作成の勘定科目」を選択します。

勘定科目データ受入 - データ受入条件設定

基本

受入ファイル

重複受入

完了通知

受入ファイル形式

O B C 受入形式

形式編集(S)...

区切文字 自動判定

受入開始行 自動判定

☒ データ受入の流れを確認する

受入元ファイル

C:\Users\bugyo11\Desktop\新規作成の勘定科目.csv

参照(B)...

文字コード 日本語 (シフト JIS)

"HMAC001","HMAC002","HMAC003","HMAC004","HMAC005","HMAC006","HMAC007","HMAC09999","テスト","0","A1220","0000","0000","0",""

受入開始(I)

キャンセル

ヘルプ(H)

「受入開始」をクリックすると取込が行われます。

受入処理が完了すると受入結果画面が表示されます。



処理日時	
2025/07/17 14:16	
処理件数	
☒ 受入済データ	1 件
☐ 未受入データ	0 件

画面(V)
印刷(P)...
PDF(F)...
データ作成(E)...
データ受入(I)
閉じる

同様に補助科目、部門の取込を行ってください。

以上